

ビズニック株式会社の DX 戦略

実務に根ざした IT 活用と 生成 AI による業務高度化

生成 AI、クラウドサービス、データ活用、情報セキュリティを適切に組み合わせ、
自社業務の効率化と顧客支援の高度化を進めます。

2026 年 5 月 15 日
ビズニック株式会社
代表取締役 岩本 恭和

DX 推進に関する経営ビジョン

実務に即した IT 活用を支援する会社であり続ける

当社は、2006 年の設立以来、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、クラウドサービスに関する事業を通じて、地域企業および顧客企業の IT 活用を支援してきました。

自社サービス事業

AI チャットボット、IP 無線、配車サービス、モバイルラリース等の自社サービスで培った技術資産を活用します。

ソリューション事業

IT コンサルティング、ソフトウェア開発、運用・サポートを通じて、顧客企業の課題解決を支援します。

技術知見の高度化

開発・運用・保守のノウハウをデータとして整理し、生成 AI とクラウドで再利用性を高めます。

少人数でも安定したサービス提供を継続し、地域の中小企業にとって実務に即した IT 活用を支援できる存在を目指します。

創業以来の理念：ユニークな製品・サービスを提供し、法令と約束を守りながら地域社会に貢献する

環境変化と DX の必要性

中小企業にも実務的なデジタル活用が求められる時代へ

生成 AI の普及

文章作成、技術調査、FAQ 作成、プログラム補助などを効率化。ただし情報管理と人による確認が必要。

クラウド利用の一般化

ファイル共有、メール、バックアップ、Web サービス、リモート運用がクラウド前提へ移行。

IT 担当者不足

中小企業では専任担当者を置きにくく、導入・運用・保守・トラブル対応が属人的になりがち。

サイバーセキュリティリスクの増大

ランサムウェア、フィッシング、不正ログイン、情報漏えいは中小企業にも広がっています。

事業継続とノウハウ継承

対応履歴、設定情報、技術メモ、トラブル解決手順は重要な経営資産です。

これらの環境変化を踏まえ、デジタル技術を実務に即して活用し、安定した事業運営と顧客支援の高度化を進めます。

DX 戦略の全体像

自社サービス、顧客支援、業務基盤を一体で高度化する

三つの柱

1. 自社サービス・技術資産の高度化

AI チャットボット、IP 無線、配車サービス、モバイルラ
リー等で培ったクラウド、モバイル、サーバサイド技術を
整理・再活用します。

創業以来の「いつ・どこ」を扱うモバイル活用の思想を、
現在のクラウド・データ活用・生成 AI 活用へ発展させます。

2. 顧客支援・ソリューション事業の 高度化

顧客ごとの課題、システム構成、対応履
歴、提案内容を整理し、過去の知見を再
利用しやすい形で蓄積します。

提案品質の向上、対応時間の短縮、実務
に即した支援を実現します。

3. 業務効率化とセキュリティ強化

見積書、請求書、作業記録、技術メモを
デジタル管理し、テンプレート化・自動
化・検索性向上を進めます。

パスワード管理、MFA、バックアップ等
を継続実施します。

技術資産 × 顧客支援 × 業務基盤をつなぎ、少人数でも継続可能な IT 事業運営を実現

具体的な DX 施策 1

技術ノウハウ・サポート履歴のデータ化と生成 AI 活用

技術ノウハウ・サポート履歴のデータ化

- ・ 顧客問い合わせ履歴、サポート対応履歴
- ・ 障害・トラブル対応記録、システム構成情報
- ・ ソフトウェア開発・保守に関する技術メモ
- ・ ネットワーク・サーバ・クラウド設定手順
- ・ FAQ、チェックリスト、作業手順書
- ・ 自社サービスの運用記録

過去の経験を属人的な記憶にとどめず、継続的に活用できる経営資産として管理します。

生成 AI の業務活用

- ・ 技術調査の補助
- ・ 提案書・説明資料の下書き作成
- ・ FAQ・マニュアル・手順書の作成補助
- ・ プログラム作成・スクリプト作成の補助
- ・ 顧客向け説明文の作成補助
- ・ 社内ナレッジの整理・要約

個人情報、機密情報、顧客固有情報の入力ルールを定め、出力内容は必ず人が確認します。

データ化 → ナレッジ化 → 生成 AI 活用 → 提案・対応品質向上

この資料作成も、生成 AI を活用した文書作成・申請準備業務の一例です。

具体的な DX 施策 2

クラウド活用、業務標準化、セキュリティ強化

クラウド・リモート運用の活用

クラウドストレージ、リモート接続、バックアップ、Web サービス、メール、オンライン会議等を活用し、少人数でも効率的に業務を行える環境を整備します。

顧客支援では、リモートサポートやオンライン相談を活用し、移動時間を削減しながら迅速な対応を行います。

定型業務の標準化・自動化

見積書、請求書、作業記録、点検項目、サポート報告などの定型業務について、テンプレート化、チェックリスト化、スクリプト化を進めます。

人的ミスの低減、作業時間の短縮、対応品質の平準化を図ります。

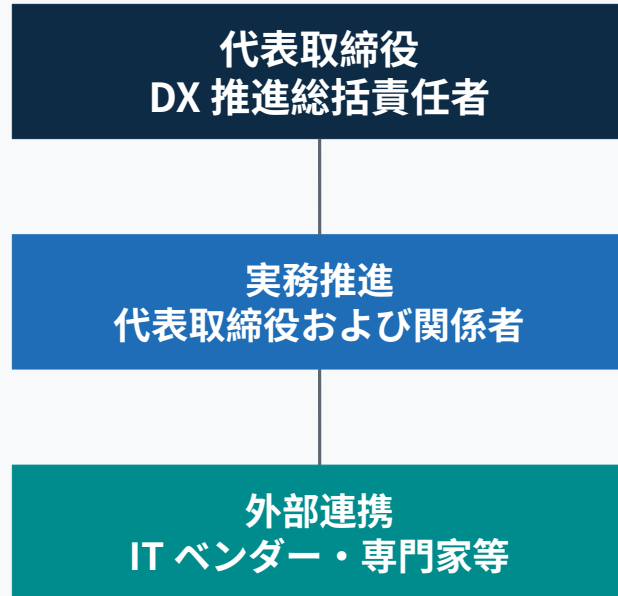
セキュリティ対策の継続実施

- ・ パスワード管理の徹底、MFA 適用
- ・ 重要データのバックアップ
- ・ OS・ソフトウェアの更新管理
- ・ ウイルス対策・不正アクセス対策
- ・ 生成 AI 利用時の情報入カルール
- ・ 年 1 回以上のセキュリティ自己点検

業務を標準化し、クラウドとセキュリティを組み合わせ、少人数でも継続できる運用基盤を整備します。

DX 推進体制と人材育成

代表者主導で迅速に意思決定し、実務に直結する改善を進める



主な役割

- 経営方針と DX 戦略の決定
- DX 施策の優先順位決定
- 生成 AI ・クラウド・セキュリティ活用の検討
- 業務改善施策の実行
- KPI の確認と改善

スキル向上・人材育成

- 生成 AI 活用方法の継続的な検証
- クラウド、バックアップ、認証管理の知識更新
- 情報セキュリティ関連ガイドラインの確認
- 技術メモ・手順書・対応記録のナレッジ化

少人数体制を活かし、学習 - 実践 - 振り返り - 改善の短いサイクルで推進します。

DX 戦略の達成指標（KPI）

進捗を数値で確認し、継続的に改善する

業務効率化

- ・ テンプレート化：年間 10 件以上
- ・ 自動化改善：年間 5 件以上
- ・ 技術メモ・手順書：年間 20 件以上
- ・ 見積・請求・作業記録のデジタル管理率：100 %

データ活用

- ・ サポート履歴・問い合わせ履歴：年間 30 件以上
- ・ FAQ・ナレッジ登録：年間 20 件以上
- ・ 過去事例を活用した提案・対応：年間 10 件以上

生成 AI 活用

- ・ 文書作成、調査、手順書作成：年間 20 件以上
- ・ AI 活用により短縮できた作業時間：年間 50 時間以上
- ・ 生成 AI 利用ルールの確認：年 1 回以上

セキュリティ

- ・ 重大インシデント：0 件
- ・ 主要サービスの MFA：80 %以上
- ・ バックアップ確認：年 2 回以上
- ・ 自己点検：年 1 回以上

KPI 管理サイクル：記録 → 確認 → 改善 → 次の施策へ反映

これらの指標を定期的に確認し、DX 施策の見直しと改善に活用します。

ロードマップ

基盤整備から活用、継続改善へ

Phase 1：基盤整備（2026年度）

- DX 戦略の策定・公表
- DX 推進指標による自己診断
- SECURITY ACTION 二つ星の自己宣言
 - 業務文書、技術メモ、サポート履歴の整理
 - パスワード管理、MFA、バックアップ体制の確認
 - 生成 AI 利用時の情報管理ルール整備

Phase 2：活用・改善（2027年度）

- 生成 AI を活用した文書作成、技術調査、FAQ 整備
- サポート履歴・技術ノウハウのナレッジ化
- 定型業務のテンプレート化、自動化
- 顧客支援メニューの整理
- クラウド・リモート支援の運用改善

Phase 3：高度化・継続運用（2028年度）

- ナレッジ活用による対応品質の向上
- 小規模事業者向け IT 活用支援の標準化
- セキュリティ対策とバックアップ体制の継続改善
- 自社サービス・ソリューション事業への AI 活用拡大
- 必要に応じた新サービス・支援メニューの見直し

基盤整備 → 活用・改善 → 高度化・継続運用へ段階的に進めます。

サイバーセキュリティ方針・代表者メッセージ

情報セキュリティを信頼の基盤として位置づける

サイバーセキュリティ方針

当社は、顧客情報、業務データ、技術情報を取り扱う IT 事業者として、情報セキュリティを事業継続上の重要課題と位置づけます。

主な対策として、情報セキュリティ基本方針の策定、パスワード管理、多要素認証、バックアップ、ソフトウェア更新、ウイルス対策、機密情報の取り扱いルール、生成 AI 利用時の機密情報入力制限、年 1 回以上の自己点検を継続します。

また、SECURITY ACTION 二つ星を自己宣言し、情報セキュリティ対策に継続的に取り組みます。

★★
二つ星
自己宣言

SECURITY ACTION
情報セキュリティ対策自己宣言

代表者メッセージ

ビズニク株式会社は、2006 年の設立以来、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、クラウドサービスに関する事業を通じて、地域企業と顧客企業の IT 活用を支援してきました。

当社は「ユニークな製品、サービスを国内、そして世界に!」というビジョンのもと、法令と約束を守りながら、実務に根ざした IT 支援を継続します。

DX は、日々の業務を安全に、効率よく、継続可能な形へ改善するための手段です。当社は、顧客から信頼される IT パートナーであり続けることを目指します。

実務に根ざした DX を継続的に推進し、顧客から信頼される IT パートナーであり続けます。

代表取締役 岩本 恭和